

「NPO法人遊悠舎京すずめ・10周年目標」取り組み企画（案）

京都の奥深い魅力を暮らしの中から発掘・発信し、京都の普遍的な精神（こころ）を伝えます

【NPO法人遊悠舎京すずめの趣旨】

<考え方>

「遊悠舎京すずめ」は京の暮らしのまわりの文化遺産、人と自然が響き合い守り合う京の心を伝承し、その知恵と歴史を見直します。そして、次世代に伝えたい価値ある京都の良さを発掘します。

<活動方針>

- ◆ 暮らしの視点から京都の文化を見つめ直し、21世紀の基準となる価値を再発見し情報を発信します。
- ◆ いにしえから受け継がれてきた町衆の伝統文化を現地現場で学び、自らが体現する“京すずめ学校”を開校しています。
- ◆ 次世代を担う子供たちへ、京都のこころを伝え語り継いでいきます。

<活動概要>

創立（2001年）以来、私達はより深く京都を知りたいと楽しく学んでまいりました。今も京都の暮らしに宿る隠れた歴史資産、文化資産、伝統と町衆の心意気等を発見する活動、京都地元実践学を推進しています。

【2010年・創立10周年企画趣旨】

創立から10年目となる本年、現地現場で開催してきた「京すずめ学校」において、古から受け継がれてきた「京の暮らしの知恵」を発掘し発信して参りました。10年を契機として後世に遺せるように整理分類を行い、文献と映像の形に取りまとめ、学術的に深めていきたいと思ひます。さらにホームページ、瓦版でも積極的に発信していきます。

また、21世紀の最大の課題である環境問題も、京都に伝わる自然のエネルギーを引き出し活用してきた暮らしの知恵、職人の知恵、町衆の知恵を体系的に調査して、口伝でしか遺されていない知恵を文献としてまとめ、世界に発信をさせて頂き、京都の文化を新たな視点でグローバルなものとしていきたいと思ひます。そこで、一歩京都の本質に踏み込んだ講座によるカリキュラムを編成し、今も京都に息づく暮らしの知恵と文化を引き出して参りたいと思ひます。

★京すずめの由来

江戸時代初期、寛文5年（1665年）に『京雀』が発行されました。この書籍は名所旧跡の案内記ではなく、町名の起こりや市井の生活にも目を向けた、新しいタイプのものでした。この『京雀』の志を21世紀に復活させたいという想いから『遊悠舎京すずめ』と命名しました。

法人概要

名称	NPO法人遊悠舎京すずめ				
所在地	〒604-8244 京都市中京区小川通蛸薬師上元本能寺町382 MBビル				
TEL&FAX	075-241-9839	電子メール	info@kyosuzume.jp	ホームページ	http://www.kyosuzume.or.jp/
代表者	理事長 土居 好江				
設立	2001年1月1日	法人取得日	2001年10月5日		

最高顧問	上田 正昭	京都大学名誉教授
顧問	奥田 正勲	京都市鷹峰 常照寺住職
顧問	井戸 智樹	歴史街道推進協議会総合プロデューサー